

しまねの林業・木材産業 **森林 林業クイズ**の答え

※Q5がありませんでした。申し訳ございません。

Q1 ① 森林が成長する量の方が多い

伐採が可能な森林の年間の成長量は123万m³（R2）、木材の生産量は62万m³（R2）です。森林の成長量から見ると、木材の生産はもっと増やすことができます。

Q2 ② 50年

一般に植えられているスギやヒノキは約50年で利用が可能になります。最近では30年くらいで利用できる「早生樹（そうせいじゅ）」も植えはじめています。

Q3 ① 1,000人

県内の森林組合や林業事業体で働く人は960人（R2）です。林業に就業する若い人も増えています。

Q4 ① 林道と機械

林道などの道を森林につけることで、林業機械やトラックが木材の生産で活躍します。林業機械には色々な種類があり、木を伐る作業や集める作業などを安全に行います。

Q6 ① 製材工場

曲がりが少ないなど柱や板に適した丸太は、製材工場で加工します。なお、合板工場では、丸太をかつらむきにして貼り合わせて合板に加工します。チップ工場では、丸太や製材の端材を砕いてチップに加工します。

Q7 ③ コンテナ苗を植える

普通の苗木は春や秋の気候が穏やかな時期に植えますが、コンテナ苗は夏や冬でも植えることができます。なお、肥料は木の成長を助ける効果があります。また、鹿などに食べられないように苗木にカバーをすることもあります。

Q8 ① 間伐

植えてから20年くらいで木を間引く「間伐」を行い、木が太るようにします。なお、下刈りは植えた木の周りの草を刈る作業、枝払いは木の枝を取る作業です。

Q9 ③ 洪水をせきとめる

森林には洪水が起こらないように、川に流れる水の量を安定させる機能はありますが、洪水が発生した後にせきとめる機能はありません。

Q10 ② 全国植樹祭

全国植樹祭では、県が進める循環型林業を全国にPRします。なお、全国林業後継者大会は、「担い手育成」をテーマに林業の魅力を全国に発信することを目的とした大会で、令和3年5月29日（土）に浜田市で島根大会が開催されます。全国育樹祭は、育樹活動を通じて森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されていて、島根県では平成3年に大田市三瓶山で開催されました。